

【 目 次 】

第1章 計画策定にあたって

I 計画策定の趣旨と経緯	1
1 趣旨	1
2 経緯	1
II 計画の位置付け	2
III 計画期間	2

第2章 消費者を取り巻く現状と課題

I 消費者を取り巻く現状	3
II 対応すべき課題	5

第3章 消費者行政施策の方向性

I 安全の確保	8
1 商品・サービスの安全性確保	8
2 食の安全性確保	9
3 監視指導	10
4 商品廃棄に係る汚染防止	10
5 放射性物質に対する安全性確保	10
II 表示、計量等の適正化及び不適正な取引行為の禁止	12
1 表示・包装の適正化	12
2 計量の適正化	13
3 不適正な取引行為の禁止	14
III 生活必需物資の確保及び価格の安定	15
1 生活必需物資の確保及び価格の安定	15
2 災害緊急対策	15
IV 苦情の処理及び被害の救済	17

1	消費生活相談の充実	18
2	被害の救済	19
V	消費者市民社会の形成に向けた消費者教育の推進【消費者教育推進計画】	20
1	効果的な情報発信の推進	20
2	高齢者等を消費者被害から守るための消費者教育・啓発の推進	21
3	様々な場やライフステージに応じた消費者教育・啓発の推進	22
	①学校	22
	②地域社会	22
	③職域	23
4	地域の消費者教育の担い手の育成及び多様な主体間の連携	24
	①担い手の育成	24
	②多様な主体との連携及び育成	25
VI	消費者支援協定	27
1	消費者支援協定の締結	27
VII	施策推進のための行政体制の充実	28
1	消費者意見の反映	28
2	消費者行政の円滑な推進	29

第4章 計画の推進

I	計画の推進	30
II	計画の点検・評価・公表	30
III	施策体系図	31

(参考資料)

I	川崎市消費者の利益の擁護及び増進に関する条例	33
II	川崎市消費生活センター条例	43
III	川崎市の消費者行政の沿革	45